

学校プロフィール

学校名（鈴鹿市立千代崎中学校）

1. 目指す学校像について

項目	内容
(1) めざす学校像	<p>【めざす学校像】 ◎笑顔とこころの通い合う学校 －生徒、先生、保護者、地域が心をひとつにして－</p> <p>【めざす生徒像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規律ある学校生活のもと、正しい判断力を身につけ、自分や仲間を大切にする生徒 ・基礎学力を身につけ、自主的に学習に取り組む生徒 ・健康や安全の習慣を身につけ、命を大切にする生徒
(2) ありたい姿（実現したい学校の状態）	<p>(1)心の教育、生徒指導を充実させ、授業規律を確立する。</p> <p>(2)すべての生徒の学力保障を行い、わかる授業、楽しい授業をめざす。</p> <p>(3)命の教育を充実させ、交通事故を防止し、いじめのない安全で安心して生活できる学校をめざす。</p> <p>(4)家庭・学校・地域が一体となった地域ぐるみの教育を推進する。</p> <p>(5)インクルーシブ教育の理念に基づく多文化共生教育・途切れない特別支援教育を推進する。</p> <p>(6)学校環境を整備し、落ち着いた学校生活をつくる。 (花いっぱい運動 ごみゼロ運動 校内の不要物の撤去 破損個所の修理等)</p>

2. 現状の認識について

(1) 「価値」を提供する相手方		
① 相手方の区分	②現在の要求・期待	
生徒	わかる授業、楽しく安心して生活できる学校 問題行動が少なく落ち着いた学校	
保護者	確かな学力の育成と個に応じた指導 心の教育と人間関係の重視	
地域	地域社会への貢献 マナーや社会規範の遵守教育	
(2) パートナー		
①パートナーの区分	②パートナーからの要望・期待	③パートナーへの要望・期待
保護者	学校教育活動の情報開示 学校、家庭の相互の連絡・連携の強化	学習支援ボランティアを通じた学校支援
地域	地域行事や活動を通じた社会への貢献 マナーや規範意識の遵守教育	学校支援ボランティア等における学校支援、学校運営協議会における協働
校区小学校	小学校教育を基礎とした学習活動の実施 中学習や部活動など中学校生活の学習機会	一貫した生徒指導、学習活動における小・中の連携強化、中一ギャップの解消
教育委員会 関係機関	保護者・地域と連携を深め、学校教育目標を達成するための教育活動の充実	学校教育活動全般にわたる支援強化 教育委員会の施策や学校教育活動での連携
(3) 組織の現状	学校改革を進めて2年目であるが、問題行動を鎮静化したという職員の意識や成果に対する満足度は高い。しかし、学力保障の取組については一部教科において実践途上であり、継続した取り組みが必要である。一方、学習ボランティアの活用等、保護者・地域の支援体制を強化することが今後の課題である。	

3. めざす学校像実現のための重要な視点（方針）について

(1) 重点化に向けた視点	ありたい姿の実現には普段から生徒に寄り添い、問題解決していく「学校力」が必要である。また、その実現には、教師個々の持つ「教師力」が不可欠であり、さらに「教師が変わらなければ学校は変わらない」といった意識改革も必要である。子どもを第一に考え、いじめなどの悩みに耳を傾け、子どもとともに歩むという理念を大事にしたい。研修や研鑽の機会を増やすことに加えて、校長自らがその姿を見せることで本校のめざす方向に全職員の日を向けさせる。
(2) 上記の背景・理由	保護者は学校での子どもの姿が見えないことによる不安がある。担任は保護者と常に連携し相互の信頼関係を築くことが必要不可欠である。そのうえで家庭での悩みを聞いたり、学校からの連絡やお願いをしたりすべきである。また、地域での子どもの様子、特に登下校時のマナーや態度が学校の評価につながる。教師が地域に出向き、顔の見える関係を築き、学校の取組などを丁寧に伝えることで地域からの信頼を得ることができる。